

令和〇〇年度農薬展示ほ（果樹）成績書

担当機関名：〇〇農林振興局（〇部）
担当者名：〇〇〇〇

作物名：うめ
対象病虫害名：黒星病
展示農薬名：A剤
展示目的：防除効果及び薬害検討

1 展示方法

実施場所：〇〇町△△地区
面積：展示区25a 対照区20a
耕種概要 品種名：南高 樹齢：6年 収穫日：青梅 6/10～
完熟梅6/20～

2 処理時期、量、方法等

処理時期：令和28年6月1日（生育ステージ：果実肥大期（果実横径3～4cm））

処理量：展示区：A剤 500L/10a 希釈倍率 1500倍
対照区：B剤 500L/10a 希釈倍率 2000倍
両区とも展着剤の混用なし

処理方法：動力噴霧器で散布

散布履歴：4/25 C剤 1000倍 500L/10a
" D剤 1500倍 500L/10a
5/4 E剤 2000倍 500L/10a
" F剤 1500倍 500L/10a

3 対象病虫害の発生状況

散布前調査では微発生

4 処理前後の気象（神門）

| 月 日 | 5/30 | 5/31 | 6/1 | 6/2 | 6/3 | 6/4 | 6/5 | 6/6 | 6/7 | 6/8 |
|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 天 気 | ○ | ○ | ◎ | ○ | ○ | ● | ● | ● | ● | ● |
| 平均気温 | 23.8 | 22.9 | 18.9 | 18.7 | 18.9 | 16.9 | 18.8 | 18.6 | 21.9 | 22.4 |
| 日降水量 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 38.5 | 4.0 | 10.5 | 1.5 | 2.5 |

○；晴れ ◎；曇り ●；雨

5 調査時期、方法

散布前（5/30）、散布7日後（6/8）、散布16日後（6/17）に1樹30果×3樹、合計90果における発病果を調査し発病果率を算出した。薬害は随時肉眼観察した。

6 成績

| 区 別 | 農薬名 | 濃度（倍） 量（L/10a） | 調査 果数 | 発病果率（%） | | | 薬害 |
|-----|-----|-------------------|----------|-----------|----------|------------|----|
| | | | | 散布前（5/30） | 7日後（6/8） | 16日後（6/17） | |
| 展示区 | A剤 | 1500 500 | 90 | 0.8 | 2.2 | 2.2 | なし |
| 対照区 | B剤 | 2000 500 | 90 | 1.3 | 2.4 | 3.3 | なし |

7 考察、農家の意見など

①防除効果：対照区（B剤）と比較して
（A：非常に高い B：高い C：同等 D：やや低い E：低い F：判定不能）

②薬 害：なし

③担当者及び農家の意見

担当者：対照区と同様に病果の増加は見られず、一定の効果があった。

農 家：今年は黒星病の発生が多いが展示区は比較的少ない。水への溶けが良い。

8 普及性

①普及性の有無：A：有 B：無 C：判定不能

②普及技術上の所見：他の薬剤と組み合わせた防除体系への組み入れを検討する。